



SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL



Member of
the Associated Schools
Network



[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A



60周年記念ロゴマーク

vol.67

2024.9.27



障がい者スポーツ体験(オープンキャンパス)



頭桜祭(6年)



講演される大野さん



アイルランド大使講演会



大学オープンキャンパス(生物資源科学部)



マレーシアFW(イオンで職業体験)



石塚小ボランティア



定期演奏会



国内研修(漁村)

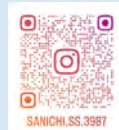


国内研修(農村)

目次

頭桜祭・定期演奏会	P 2
Global eye・ペンブルックカレッジ研修	P 3
国内研修	P 4
学園創立60周年記念行事・PTA	P 5
輝く仲間たち	P 6

ホームページ・Instagramはこちら



佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)
<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

顕桜祭

6月22日(土)
クラスおよび部活動発表



6-1
ウマ、馬!
カフェ

6-2
あつまれ!
6-2の森



5-1
迷探偵ゴノイチ
教室の悪夢

5-2
SANIVERSAL
GO-TWO JAPAN

前期課程
合唱発表会
インスタ映え
モニュメント

4-1
日本と
世界の祭

4-2
みっけ!
ひらしゅん祭



前期生全員合唱



6月16日(日)、第35回定期演奏会が佐野市葛生あくどプラザで行われた。管弦楽部、合唱部、和太鼓部、吹奏楽部のそれぞれのステージに分かれ、これまでの練習で培った思いを演奏に込めて披露した。

今年は4つの部活動が協力する合同ステージでの演奏も披露された。音楽を通してひとつになるすばらしい試みとなった。

プログラム

- 管弦楽部 四季より「春」ほか
- 合唱部 コルシカ島の2つの歌ほか
- 和太鼓部 助六二段打ちほか
- 吹奏楽部 フロントニア・スピリットほか



定期演奏会





視野を広げる国際交流

マレーシア フィールドワーク

6月7日（金）～15日（土）、マレーシアでのフィールドワークが実施され、2年生から5年生の生徒18名が参加した。姉妹校である Sri UCSiにて、生徒たちは緊張感をもちながらも全校生徒の前で英語を使った自己紹介を行い、授業では日本の文化を英語で紹介した。観光地訪問では、多民族国家であるマレーシアの多様な文化に触れ、視野を広げることができた。また、イオンモールで職場体験を行い、日本と文化の違いを肌で感じ、貴重な体験となった。

また、ホームステイを行った。英語でのコミュニケーションや、各家庭の文化・食事に最初は戸惑いながらも、良い経験となった。



最終日にはフェアウェルパーティに参加し、涙ながらにホストファミリーに感謝を伝え、別れまでの時間を過ごした。

今回のフィールドワークでは上級生が中心となってリーダーシップを発揮し、全員が責任感をもって行動することができた。姉妹校 Sri UCSi、ホストファミリーや現地のガイドなどからの温かい歓迎に改めて心から感謝申し上げたい。

また、密度の濃い時間を過ごした生徒たちの今後の活躍を期待したい。



第13回ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ

付属高校生サマープログラム報告

浅見 奏人（4年・埼玉・さくら小）

今回、約2週間にわたりイギリスのケンブリッジ大学でのサマープログラムに参加する機会をいただきました。

私は英語のリスニングが得意ではありませんでしたが、授業や積極的にコミュニケーションを取る中で、リスニングのコツを掴むことができ、スムーズに聞き取れるようになりました。その結果、英語での会話がより楽しく、意欲的になりました。

また、「パンティング」というイギリスの伝統的な川下りを体験しました。川を下りながら、ケンブリッジの美しい建物を眺め、その歴史や背景について話を聞くことができ、現地の文化や歴史に対する理解を深めることができました。この体験を通じて、ケンブリッジの街が学問だけでなく、歴史や文化の面でも非常に豊かであることを実感しました。

他の日大付属校の生徒たちとは初対面で少し緊



日大付属生徒と（前列右から2番目）

張しましたが、共に授業を受け、生活を共にする中で、自然と仲を深めることができました。

今回の研修を通じて、日本とイギリスとの違いを肌で感じ、いつもとは違った視点から日本の良い点や改善点を考えることができ、視野が広がりました。ここで得た経験を成長の糧とし、これからは活かしていきます。

国内研修 (2年生)

農村班



6月3日(月)～5日(水)、2年生が新潟県上越市で国内研修を行った。農村班と漁村班に分かれた生徒たちは、2泊3日の日程をフル活用し、有意義な活動体験を満喫した。



1日目は「田植え体験」。みんな泥まみれになって楽しんだ。



2日目は「工芸体験」。つる細工と草木染を体験した。



漁村班



川西公民館での入村式。ここで現地の方々と対面した。



こちらは「魚さばき体験」。地元の方に指導していただいた。



入村式の後、さっそく作業体験。「貝のフォトフレームづくり」にチャレンジ。



2日目は乗船体験と魚釣り体験

ホームステイ!



農村班・漁村班とも2日目の夜は「ホームステイ」。ホストファミリーの方々と対面した。



交流やお手伝い体験を通し、一回り大きく成長した。

佐野日本大学 中等教育学校

入学説明会・進路相談会

10月6日(日)
11月3日(日・祝)
11月30日(土)
1月18日(土)



詳細については
QRコードから!

入学試験

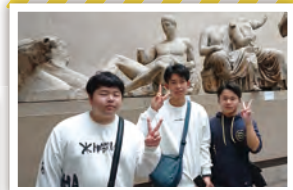
第1回 11月24日(日) 一般(4・2科)
推薦入試
第2回 12月8日(日) 一般(4・2科)
英語アドバンス入試
自己アピール入試
第3回 1月26日(日) 一般入試(2科)



「ゴゴトモ」 毎月 第1・3・5 土曜日 13:40～14:40

「ゴゴトモ」は、土曜日の4時間目から、佐野日本大学中等教育学校に通う先輩たちと一緒に過ごすイベントです!

実際の授業を見学したり、校舎の見学や一緒に部活動などに参加したりすることができます! ぜひご参加ください!



ゴゴトモへの
申し込みは
こちらの
QRコードから

学園創立60周年記念講演

6月10日（月）プラザ40において、本学園創立60周年記念事業の一環として、ラグビー元日本代表の大野均さんをお招きしての講演会が実施された。「弱小チームからワールドカップで勝つまで」というテーマでご講話をいただいた。講演では、日本代表として世界を舞台に活躍するまでの道のりが紹介され、動画と、時にユーモアを交えた語りに、参加生徒は皆、楽しみながら聴き入っていた。講演後も生徒から活発に質疑がなされ、その一つ一つに大野さんは丁寧に応じてくださった。



9月11日（水）には、アイルランド大使のデミアン・コール氏をお招きし、「Global Ireland and Japan」と題した講演をいただいた。アイルランドの基本的な情報から政治や経済のこと、特徴的な食べ物や国民的行事である聖パトリックデーについてなど、アイルランドについてのさまざまなことを知る機会となった。日本との共通点も多く、親近感を得ることができた。

講演後の質疑応答では、多くの生徒が英語で質問に挑戦し、「公用語に手話があるのはなぜか」などを始め、有意義な意見交換の場となった。

最後に生徒を代表して、生徒会長の宮崎高虎さん（5年・栃木・栃木中央小）が謝辞を述べた。生徒の視野を広げる講演会となった。



PTA 夏季支部懇談会・研修視察



7月7日（日）、プラザ40において夏季支部懇談会が実施された。横井会長から、お互いに情報を共有し、子供たちのより良い成長に繋がめようとしてご挨拶をいただいた。船渡川校長からは、日頃の生徒の活躍の様子、そして学習成果が伝えられた。学習・グローバル教育・生活健康・進路指導について説明の後、学年での懇談会が行われた。



8月3日（土）、日本大学理工学部船橋キャンパスにおいてPTA研修視察が行われた。様々な研究棟で、どのような研究が行われているかを説明していただいた。巨大建築物からマイクロデバイスまで、私達の生活を支える技術が日々進化する場所で、充実した1日を過ごし、親睦を深めた。

King Edward VI世校歓迎セレモニー



7月16日（火）、プラザ40において学園創立60周年記念事業 King Edward VI世校ラグビーチーム歓迎セレモニーが行われた。本校と太鼓部・合唱部・吹奏楽部もそれぞれ素晴らしい発表を行い、記念すべき式典を大いに盛り上げた。



その後、本校チームとともに長野県上田市菅平原へと移動し、18日（木）までの3日間で、合同練習やフレンドリー・マッチを通して親交を深めた。

輝く仲間たち

最優秀賞受賞——県大会へ

9月3日（火）、佐野市の葛生あくとプラザで開催された栃木県少年の主張発表安足地区大会において、3年生の宮城碧さん（栃木・千塚小）が最優秀賞に輝いた。

宮城さんは「オーケストラの奏でる音楽のごとく」と題し、現代社会におけるジェンダーに関わる問題について、落ち着いたのある堂々とした態度で意見を述べた。性別による固定的役割分担などの解消に向けて、自分なりの解決方法を模索し、提案することができた。

その結果、9月21日（土）に行われた県大会にも出場し、健闘した。宮城さんの今後の活躍を期待したい。



発表の様子

高円宮杯書写書道大展覧会 入賞!

第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会で、書道同好会の生徒の作品が多数入賞した。入賞者は次の通り。

毛筆の部 日本武道館賞

神山 実穂（3年・栃木・栃木中央小）
特選
井上 晏奈（3年・佐野・界小）

硬筆の部 大会奨励賞

神山 美優（4年・佐野・犬伏東小）
特選
奥澤穂乃香（6年・羽生・羽生北小）

個人の部 第5位入賞! 本庄・浅見ペア

9月5日（木）、栃木市運動公園テニスコートで行われた県高体連南部支部新人ソフトテニス大会において、本庄与冴さん（5年・足利・山辺小）・浅見奏人さん（4年・幸手・さくら小）ペアが、男子個人で第5位に入賞した。惜しくも県大会のシード権は逃したが、今後を期待したい。

中体連での活躍

○陸上競技

佐野市総合体育大会陸上競技大会（6/29）
2年男子 100m 第2位 赤坂優光（佐野・出流原小）
第70回全日本中学校通信陸上競技大会栃木県大会（7/7）
2年男子 100m 第3位 赤坂優光

○野球

佐野市総合体育大会野球大会（6/29・30）
準優勝 佐野市立南中学校との合同チーム

○水泳

佐野市新人体育大会水泳競技大会（9/1）
男子総合 準優勝
平泳ぎ 100m 第2位 森田航大（古河・古河第二小）
第3位 大熊柊摩（小山・小山城南小）

学園創立60周年記念

中等キャラクター 名称決定!!

前日本大学芸術学部学部長木村政司様にご協力をいただいた、中等キャラクターの名称が生徒等による投票の結果ついに決定した。



ひかる

さくら

© 2024 Hikari Ichimura

男子は「ひかる」で、校歌の歌詞「いざゆかん希望のひかり」に由来し、女子は校章の「やまざくら」から「さくら」と命名された。

編集後記

真田広之氏のドラマ「SHOGUN」がアメリカのエミー賞を受賞したというニュースが飛び込んできた。マスコミはこぞこの栄誉をたたえているが、その裏側でドラマを支える人々が絶えてゆこうとしていることは報じない。今や国内で時代劇を撮影している放送局はNHKくらいで、かつらを結ったり所作を指導したり、そのほかにもさまざまな技能が失われようとしている。さまざまな技術は失われてしまえば二度と戻らないものも多い。効率や採算だけを重視する社会は、恐らく多くの人々にとって生きにくい。人々の特性を個性と受け入れながら、手を取り合っている世界であってほしい。（長谷川 記）

広報わかざくら VOL.67

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111 (代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>